

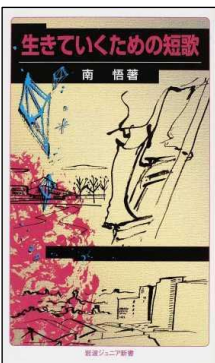
「青春の短歌」

教頭 養會 博志

県農定時制のみなさん、一年で最も爽やかな時季になりました。過ごしやすく、何事にも集中して取り組むことができる今の季節は、よく「〇〇の秋」と言われています。みなさんが考える「〇〇の秋」とは何でしょうか。今回は、「読書の秋」にふさわしい一冊として、『生きていくための短歌』（岩波ジュニア新書）を紹介したいと思います。

この本の著者は、私が勤務していた学校の同僚であり、教員としての大先輩である南 悟（みなみ さとる）先生です。南先生は33年の長きにわたって定時制高校の国語科の教員として勤められた後、関西大学非常勤講師として小中高の有用な教員を多数輩出されました。現在は神戸こども総合専門学院で保育士の養成に尽力される傍ら、中学校や高校での講演会等の講師として活躍されています。南先生の授業の特徴は、生徒の葛藤に寄り添うこと、そして、「つらいこと」を共有することを最優先としながら、生きることの難しさや学べることの喜びを短歌（五七五七七）の三十一音に刻むことにあります。いじめ、不登校、ひきこもり、そううつ病、パニック障害、虐待、リストカット、親の自殺、震災などを経験しながらも、定時制高校で自己再生、自己実現を果たした生徒たちの情動の短歌を『生きていくための短歌』から紹介します。

- ・人間の 死ぬより辛い 生きること 大きな根を張り 負けずに生
- ・生きること 疲れて手には 亡き母の 携帯写真 温もり心に
- ・遠き日に 手放したりし 卒業の 二文字追って 夜学に通う
- ・震災で 隣家の家族 がれき下 埋もれた声と 焼け野原
- ・学校と 仕事子育て 疲れても 子どもの笑顔で 元気回復
- ・母が死に 父は家出し 兄と俺 くやしい中に 今生きている
- ・友達と 遊びほうけた あの頃の 自分に見せたい 今のがんばり



国語の授業で短歌を学び始める
(右が南悟先生)



5・7・5・7・7指折り数えて短歌を詠む

紹介した本は、本校図書室に蔵書があります。ぜひ手に取ってみてください。また、上の2枚の写真は、私が当時撮影したもので、この本に掲載されています。

県農定時制のみなさんには、困難に打ち克つことの素晴らしさ、学ぶことの大切さを改めて認識してもらいたいと願っています。そして、県農定時制は、これからも、生徒一人ひとりの心に花を咲かせる最良の拠り所であり続けたいと思っています。

9/26(金)体育大会が行われました(全学年)

今年も体育大会の時期がやってきました。生徒たちは夕方 17:00 ごろグラウンドに集合しました。連日の雨で天候が心配されましたが直前になり無事に晴れ、秋晴れの空の下で体育大会がスタートしました。ラジオ体操、男女混合リレー、障害物リレー等々、陽が傾いていくグラウンドで生徒たちは精一杯競技に取り組みました。大会の終盤にはサイリウム演技が行われました。曲に合わせて生徒たちが振るサイリウムが、照明を落として暗くなったグラウンドを照らしました。今回の優勝は1年2組、2位が1年3組でした。



10/17(金) 赤ちゃん先生③が行われました(3・4年生)

全3回の赤ちゃん先生プロジェクトの最終回が行われました。第2回ではベビーカー体験などが行われましたが、今回は生徒のみでの託児体験が行われました。お母さんから離れた赤ちゃんたちは泣いたり、静かになったり、走り回ったりと三者三様の反応。生徒たちも最初ははどうしたらいいのかと慌ていましたが、絵本を読んだり追いかけてっこをしたりお絵かきをしたり…赤ちゃんたちとコミュニケーションを取って仲良くなっていきました。最初泣いていた赤ちゃんも、最後には生徒たちと大喜びで遊んでいました。今回の体験を通して、生徒たちは育児の難しさや大変さ、素晴らしさを学びました。

【11月の行事予定】

- 11/4(火) 全校集会
- 11/5(水) 11/6(木) オープンハイスクール
- 11/7(金) 職業別説明会(2年生)
- 11/13(木) CC⑭
- 11/16(日) 神戸マラソンボランティア(2年)
- 11/17(月)、11/18(火) 1・2限授業、3・4限学習成果発表会準備
- 11/19(水) 2年奉仕活動④、CC⑮、1・2限学習成果発表会準備(短縮授業)
- 11/20(木) 1・2限学習成果発表会準備(短縮授業)
- 11/21(金)、学習成果発表会(生徒 8:30 集合、9:30~12:30)
- 11/25(火)、生徒会長選挙(4限)
- 11/26(水) CC⑯
- 11/27(木) 短縮1・2限
- 11/28(金)~12/4(木) 期末考査

